

# 大岡信さん 死去

86 歳

## 文化勲章、戦後詩壇を牽引



戦後日本を代表する詩人で文化勲章受章者の大岡信(おおおか・まこと)さんが5日、誤嚥性肺炎による

呼吸不全のため死去した。86歳。葬儀・告別式は近親者で行う。喪主は妻、かね子さん。後日、お別れの会を開く。静岡県生まれ、旧制沼津

中に短歌や詩作を始めた。ポール・エリュアールら欧米詩人や超現実主義にひかれ、東大文学部時代に日野啓三さんらと雑誌「現代文学」を創刊した。

卒業後、新聞記者の傍ら谷川俊太郎さんらの詩誌「権」に参加。詩集「記憶と現在」「春 少女に」など、柔らかな知性とみずみずしい感性を兼ね備えた作品を発表した。古典の再評価にも尽力。評論集「紀貫之」のほか、美術や音楽の評論も手がけた。昭和54年から新聞に連載したコラム「折々のうた」は、休載をささみながら平

成19年に終了するまで67回62回を数える長期連載となった。日本の連歌の形式で海外の詩人と共同制作する「連詩」などで国際交流を積極的に進めた。明治大や東京芸術大教授を歴任し、日本現代詩人会会長、日本ペンクラブ会長などを務めた。平成15年に文化勲章受章。日本芸術院会員。長男は芥川賞作家の大岡玲さん。